

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社サイベックコーポレーション					
代表者名	氏名	平林正貴	役職名	代表取締役副社長		
主たる事務所の所在地	長野県塩尻市大字広丘郷原南原1000番地15					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	24 金属製品製造業				
主たる事業の概要	超精密部品の金型開発及びプレス加工					
制度に該当する要件	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	983.47	973.64	895.90		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	1,753.99	1,736.45	1,598.56		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂					
自動車の台数	台	4		4		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂					

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2021	年度	計画期間	2022	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

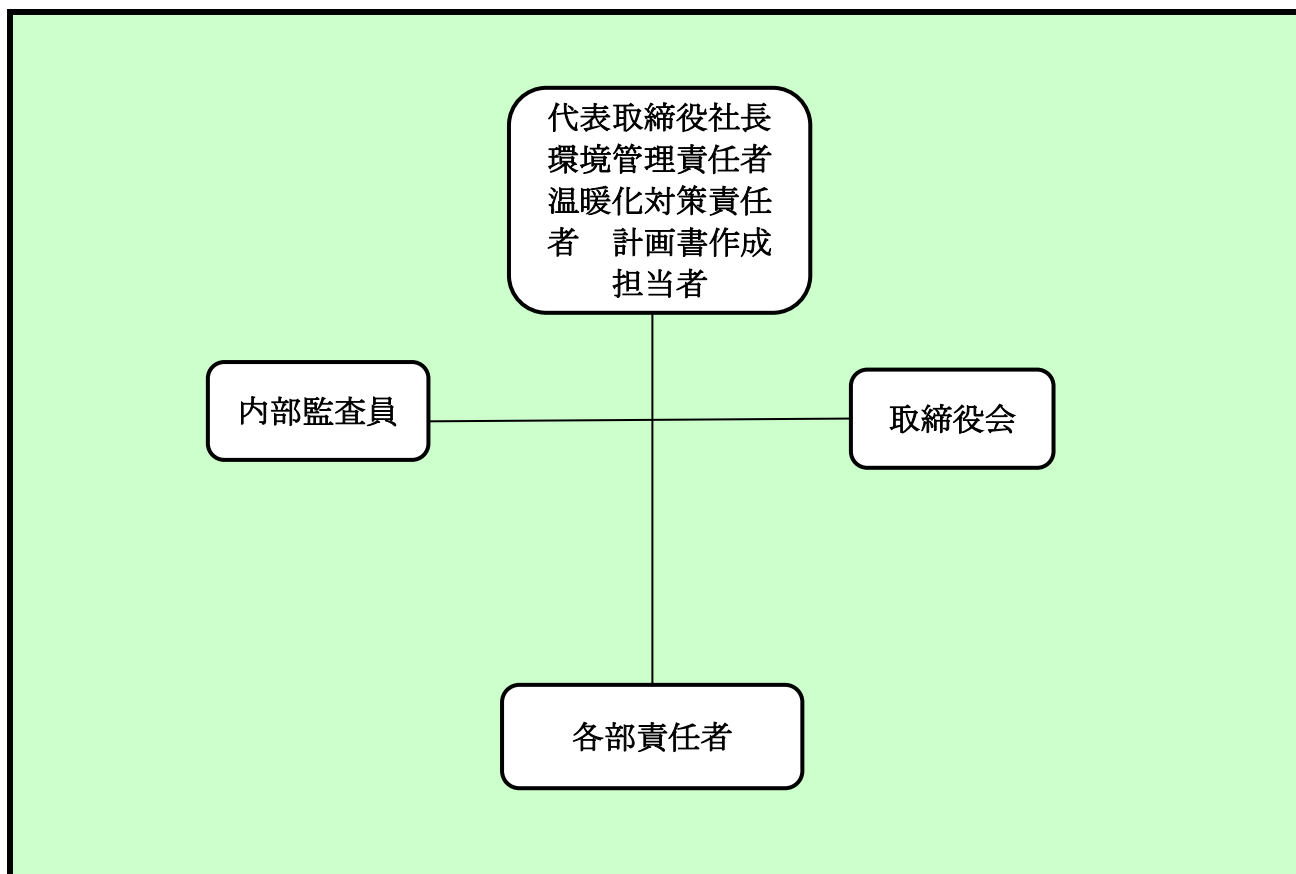
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧場所 サイベックコーポレーション（本社受付） 閲覧時間 8:30～16:30 担当部署 経営品質部 連絡先 0263-51-1800
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

将来の持続可能な社会形成に向けて「技術・環境・品質」を柱にして、脱炭素型への転換を推進し、環境マネジメントシステム（ISO14001）を用い、温室効果ガス排出抑制に取り組めます。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・ 円卓会議（環境管理委員会：毎日の打合せ時において、適宜温室効果ガス排出抑制のテーマを取り上げる）
- ・ マネジメントレビュー 年1回

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1,753.99	t-CO ₂	延べ面積	16.55	単位	千m ²
2021年度	調整後排出量	1,753.99	t-CO ₂	基準原単位	105.96	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	1,736.45	t-CO ₂	目標原単位	104.90	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	1.00	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	今年度は、排出量そのものを削減する目標を定め活動しているため、原単位は延べ床面積を指標として設定する。 事務棟のLED化を行うとともに、エネルギー使用量を把握し、設備更新などにより計画的に省エネ化を図っていく。						
第一年度	排出量	1,598.56	t-CO ₂	延べ面積	16.55	単位	千m ²
	削減率	8.86	%	原単位	96.59	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	1,598.56	t-CO ₂	原単位削減率	8.84	%	
	削減率	8.86	%				
排出量等の増減理由	事務棟のLED化やコンプレッサーのメンテナンスを行い省エネ化を推進。設備も省エネタイプのものへ入替を行った。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	延べ面積		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	延べ面積		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
—年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量		t-CO ₂			単位	
2021 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
— 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752	LEDの導入	2022	0.61	2022	0.7
2	エネ起	310400	エネルギー使用量の管理	2022	17	2022	17
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	KW	200	0	200		

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	2	1,753.99	2	1,598.56				
合計	2	1,753.99	2	1,598.56				

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	1	2		
合計	1	2	0	0
自動車総数	4	4		
次世代車導入割合	25	50		

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	工場の生産品を、方面別に分けて混載納品することで。物流の合理化を図っている。配送便をなるべく少なくまとめて送るようにする。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1998
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

システムを導入し、デマンド管理を行っています。